

## 評価シート 様式

取組名	魅力と活気あふれる「めがねのまち鯖江」元気再生事業		
実施団体名	「めがねのまち鯖江」元気再生協議会	対象地域	福井県鯖江市
(代表団体名)	福井県鯖江市	推薦団体名	

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

取組名	魅力と活気あふれる「めがねのまち鯖江」元気再生事業		
実施団体名	「めがねのまち鯖江」元気再生協議会	対象地域	福井県鯖江市
(代表団体名)	福井県鯖江市	推薦団体名	

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	消費者に近いスタイリストと産地を結びつけた商品開発を行い、話題性を高めることにも成功しており、先導性・モデル性が特に認められる。また、オリジナルブランド構築とともに、ものづくり教室を開催して眼鏡づくりへの関心を広めたり、産業観光の環境整備に取り組んでおり、複合性の面でも評価できる。今後、各種取組の相互連携を図ることで、相乗効果・波及効果を引き出すことが期待される。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	産地メーカーと消費者サイドの連携により、産地の知名度を上げるとともに新たなビジネスチャンスを提供する一方、後継者育成のための気運醸成を図っている点、産地情報発信や産業観光の振興に取り組んでいるなどの点で、地域活性化に寄与する取組であると評価できる。今後は、オリジナルブランド構築とものづくり教室の連携等、元気再生事業の各要素間の連携強化を図るとともに、以下の点に留意しつつ地方の元気再生事業を継続することにより、本格展開に向けて継続的な展開が期待できるものである。
	オリジナルブランド構築に関しては、本年度の取組を活用可能なセグメントではなく、全く新たな手法の開発が必要なセグメントに絞り込んだ上で、当該手法の実証を行うべきである。また、ものづくり教室の取組については、その一部についてオリジナルブランド製品の販促手法としても活用し、相互の取組で連携を図るとともに効率的な取組とすることが適当である。また、産業観光情報提供については、本年度の取組を踏まえた他の取組との連携について検討が必要である。